



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

WEEKLY REPORT

設立 昭和63年(1988)5月23日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111
会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1444回 例会 2022年(令和4年)2月14日

(平和構築と紛争予防月間)

本日のプログラム ○ ロ-タリ-ソング「それでこそロータリー」 ○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告 ○ クラブフォーラム「国際奉仕委員会」吉本 力 委員長 ~14:00	(本日のプログレス 平山 明彦 SAA)
--	----------------------

前回(2月7日)例会記録

◇プログレス 中井 崇 副SAA

1. 来客紹介 天野 大樹 親睦委員
ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:0名 合計:0名

~~~~~  
 ・心の窓にともしびを  
 ・かあさんのうた  
 ・からすの赤ちゃん  
 ~~~~~

2. 2月お誕生月会員お祝い

- 大磯 隆一 会員 (2月4日)
- 竹内 弘 会員 (2月6日)
- 北野 克己 会員 (2月12日)
- 原山 歩 会員 (2月13日)
- 小島 常男 会員 (2月26日)



3. 会長の時間 宮原 彰 会長

2021年9月に緊急事態宣言が解除された時に、外食や旅行・宿泊などがクローズアップされました。ヨーロッパやアメリカでは、リベンジ消費と呼ばれる消費の活性化が景気を押し上げて、日本は出遅れたと見ていたようです。

当時、コロナの収束率64パーセント、この数字は大きいですが、この時点ではオミクロン株は、まだ現れていませんでした。設備投資の回復35%、米国経済の改善19%、この後の数字は一桁になりますが、公共投資の増加、欧州経済の改善、中国経済の改善、日本社会のデジタル化への加速などが、日本経済に対する政府の方針でありました。同時に世界の経済情勢も昨年9月頃よりコロナの影響が薄らいだため経済活動が活発になりました。

同時に「世界で食料価格の高騰が収まらない」マイナス要素も出ておりました。

「相次ぐ異常気象や新型コロナウイルス過の影響で、穀物などの供給が不安定になる中、脱炭素化の進展が必要と生産コストを押し上げている。

国連食料農業機関の算出によると、2021年11月時点で食料価格は前年同月比27%上昇する。

食用油の菜種油は70%上昇、粗糖(砂糖)21%上がり小麦は22%高となる。

ブラジルは約90年ぶりの小雨でトウモロコシの生産が低迷菜種はカナダの夏の熱波が響き生産量30%落ち込む。

パーム油の価格は過去最高、パーム油は世界で最も需要の多い植物油で、化粧品やバイオ燃料に使います。

パーム油はインドネシアとマレーシアで世界の90%を生産インドネシアは国内の食料価格抑制のため輸出量の20%を国内向けに義務付けると発表、輸出規制を実施 マレーシア、世界第2位の輸出国、前年同月比14%減少。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い入国規制を行い、労働者不足に陥り、収穫に影響している。

ウクライナ情勢の緊迫などで原油高が続いており、バイオ燃料の需要増が意識されている。

同じ植物油の大豆油も値上がりしており、当分食料の高騰は続く予想されている。

弊社もお世話になっております化学品業界でも、9月から生産活動が再開され、お客様から原料のご注文を頂くことになりました。只ご注文を頂いても、品薄の商品が多く手当に困難であります。

化学品は裾野が広く原料も多岐にわたりますが、ほとんどの原料が輸入品であり、その輸入品も食料品であります。

その食料品の値上がりはコストアップにつながり、企業の生産活動への影響を懸念しております。

ありがとうございました。

4. 幹事報告 岩崎 寿英 幹事

【今後の例会の開催について】

- ・緊急事態宣言が発令されたとしても、原則としてオンライン併用で開催します。
- ・現段階では、濃厚接触者の待機期間が7日となっているので、それに合わせた対応をします。
つまり、例会出席者で陽性者が出た場合も7日を過ぎたら、例会は開催します。
- ・その他、行政の要請に応じて、対応していきます。

5. 委員会報告

◎ 国際奉仕委員会 吉本 力 委員長

フィリピン(セブ島)災害支援の件で、2月3日(木)に八尾ロータリークラブ様、現地NPO法人の三浦様とWEB会議を行いました。当クラブは、食料と水を支援するということで本日の理事会でご承認をいただけるよう準備いたしました。

本日の理事会では、ご審議の程よろしくお願ひいたします。

また、2月2日(水)に講師派遣のご依頼を受けていた八尾市立竹濑小学校に、澤田会員を講師派遣する予定でしたが、学校側にコロナ感染者が発生したとのことで、急遽中止となりました。来年度にまたお願ひしたいとのことでしたので、ご報告いたします。

◎ 社会奉仕委員会 中嶋 啓至 委員長

地区より依頼のあった国連支援募金運動として、薬物乱用防止対策事業の募金は7,000円でした。

ご協力ありがとうございました。

◎ 規定情報研修委員会 岡本 茂 委員長

今月21日(月)に開催を予定していましたが、今年度第1回目の「入会間もない会員を中心としたクラブ内研修・懇親会」は、もうすでに多くの会員からの申し込みがある中、誠に残念ですが、現下の状況を勘案し、延期といたします。

改めて、日時を設定のうえ、ご案内いたします。

また、恒例の「心齋橋 RC との合同情報集会」は、昨年、一昨年と中止になりました。今年度は当クラブが担当クラブになりますので、現状では3月中の月曜日の夕刻での開催を、心齋橋RCと調整しています。

日時、内容など決まりましたらお知らせします。その節は、多くの会員のご出席をお待ちします。

6. ニコニコ報告 岡本 真太郎 親睦委員

西村 会員・・・オリンピックスキージャンプ(ノーマルヒル)の小林陵侑選手の初金を祝して、オメデトー!!

中井、岩崎、小島、竹内、沖、原山、澤田、岡本(茂)、井澤、塩尻、吉本、宮原、新川、清水、天野、坂本、岡本(真)、小山、洪、北野、篠藤、中村、大嶋、山川、俣野、甚田、岡野、大磯、中西、

各会員・・・北京オリンピック スキージャンプ小林陵侑選手金メダルおめでとう

大磯、竹内、北野、原山、小島、各会員・・・2月お誕生月

中川、西村、両会員・・・2月創立記念日

甚田、中嶋、片岡、各会員・・・2月結婚記念日

7. 出席報告 中井 崇 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 33名(内 ZOOM0名参加) 出席率 87%

第1441回(1月11日) 修正出席率 95%

8. 卓話 「ロータリー入門書を読んで」 沖 真一郎 会員



2008-09年度版 前原勝樹著『ロータリー入門書』を読んで(抜粋)

(前原勝樹氏は京都帝大医学部、同大学院卒、医学博士、職業分類 S・A(病院))

『あなたはロータリアンですか、それとも只の会員ですか』コン・ウェイ RI 会長の痛烈な言葉で始まります。

ロータリーの理念と実践

前原勝樹(355 地区ガバナー1968-69)のスピーチより

(1) 我等はいかに参加し敢行すべきか

ロータリーの何物かを解せずしてその会員としての本分を発揮することは出来ない。

ロータリーとはなにか基本的な考え方について・・・

まずは、歴史的発展過程について、ポールハリス(シカゴ 弁護士 1905 年 RI ロータリー創設、07 年会長 1947.01 没78歳)

仕事は繁盛していたが、依頼人の利欲のために大なり小なり嘘をつかれ日々淋しい思いをしていた。人間らしく心温まる付き合い、気の許せる友人を求めている。

気の許せるクラブ作りを目指し利害関係・上下関係等 等差のつかない一業種一人制で組織した。親睦が深まり実利的にも会員同士の取引もふえ便利になる。当初より評判がよく入会者も多くなる。が、庶民の集まりで気軽なものを目指すために会館を持たず、例会の会場はあちらの事業所・こちらのホテルと回っていた。各所を回り歩くことからロータリーと名付けられ、馬車の車輪をマークとした。後にアーサー・F・シェルドン(経営学者)の入会にあたり『仲間の利益ばかりを考えている会は持続しない。広く社会的に有用な団体となる立派な旗印が必要』と言われる。

当時、シカゴでは金の亡者が多く、商業道徳は退廃し、被害者は消費者ばかりの修羅場となっていた。破産倒産相次ぐ中にも商売繁盛を続ける商家のあるのに気づき、その秘密は相手の身になって励むことを見つけて【最もよく奉仕する者、

最も多く報いられる】(They Profits Most Who Serves Best)の標語を掲げる、また【超我の奉仕】(Service Above Self)との二つが公式標語となって奉仕団体の性格を明らかにした。結果、ロータリアンの職場はいずれも活気を取り戻し、着々と成功者も出てきた。職業奉仕の成果によってロータリアンは大きな信念を持つことができ、この頃、相互扶助のギア(歯車)のマークに変える。奉仕の理想は職場のみならず、家庭生活・社会生活においても、あらゆる生活の場に持ち込み行動することが、住みよい社会をつくる道でありロータリーの責任と名誉である。今やロータリーは単なる親睦団体でもなく、商売繁盛の相互扶助機関でもなく、奉仕の理想を中心として集まる同志の集団となった。さらに後にマーク、ギアの中央に心棒が滑らないように楔の穴が描かれている。この様に、高く掲げた奉仕の理想は、次第に世界中の実業家、専門家の共鳴するところとなった。世界の隅々まで我々の同志が出来、おのずと国際理解に対し大きな役割を果たすようになり、これを強調し組織化したものが国際奉仕である。ロータリーははじめに親睦、友愛があり、ここから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に成長し、それが広がって国際奉仕になったものであり、これを貫く思想を「奉仕の理想」と呼ぶようになった。ロータリーの本質は、と問われれば「親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団」と答えてよいのでは。

親睦から奉仕の理想がどのような心理過程で生まれたのか。ポール・ハリスは例会に出席すると「童心に帰る」ことができる、先輩ロータリアンは「例会の1時間は神様になる時間だよ」と言っていた。それは人間の本性として例会の一時間は人間性を取り戻す時間であるとの意味です。人間には二つの面がある。自分の欲望を達成しようとする獣性と、他人の為に役立つという神性があります。人間は哺乳動物の一種族として個体の生存のためにその本能の満足に向かって突進しています。

哺乳類の中でも人より勝る種族は多くいます。大きさでは象、獐猛性ではライオン、敏捷性では鼠、走る力ではカモシカ。必ずしも強力でない肉体の持ち主である人間が、何故に万物の霊長として地球上を征服して、繁栄を続けているのでしょうか。

それは人間の社会性であり、各分業を分担して共同社会をつくっていく公共性があるからです。公共心、思いやりの心が、個体の欲望の強さに比例しているであろうことは「悪に強きは又善にも」といわれることから推察できる。

成功した実業家の皆さんは、そう申しては失礼ですが、個人的欲求の旺盛な方々であります。それであればこそ業界代表としてロータリアンに選ばれたのであります。しかし皆さんは日常の業務に忙殺され、何か世の中に役立ちたいと思いついても、いつも仕事にかまけて構想がまとまらず、実行にも移せません。それは、皆さんの為にも、地域社会の為にも残念なことです。皆さんのやむにやまれぬ善意を生長させ、実行の機会を提供するのがロータリーです。

ロータリーの例会の一時間、それは皆さんの息抜きの一時間です。競争者のいない世界、警戒心を必要としない時間、ここで初めて我に返り、反省が行われ、次第に本然の自分に帰ります。人間性が取り戻されて、他人のことや社会の問題等を考えるゆとりが出来ます。考えていた奉仕を実行に移す決意も生まれます。このような心境になることをポールは「童心に帰る」といわれ、先輩は「神様になる」といったのです。これが親睦から奉仕が生まれる過程でありロータリーの本質の在するところなのです。賢明な皆様は既に気づかれたとは思いますが、ロータリーの奉仕は個人個人の発意にあるということです。そして奉仕の主体はロータリアン一人一人にあるということでもあります。

ロータリークラブはロータリアンに奉仕をさせるためのクラブであって、クラブが団体として奉仕するのはむしろ本筋ではないとされる。例えば役員、委員の一年交代を実施していることです。もし団体として奉仕するならば、適材適所で有能な会長を据え置いて数人のスタッフで、継続的に事業をするのが合理的でしょう。しかるに役員、委員の一年交代を実施しているのは会員に奉仕の勉強をしてもらいたいためである。奉仕事業団ならば、これを協賛する人がお金を出せばよい。ロータリーは皆様の心の中にある奉仕の理想を高揚し、進んで奉仕が出来る指導者になってもらいたのです。世間では、ロータリーを評して金持ちの昼飯会といひます。「ロータリーは奉仕団体」と説明しても果たして相手は納得するでしょうか。「奉仕、奉仕といっても、地域社会に対して大したことはしていない」というのが一般市民の反発です。道路標識をつくる、屑籠を寄付する、雨傘を寄贈する、みな結構ですが、あれだけ立派な社長や旦那や先生方が集まった会にしては、仕事の規模が小さすぎはしないか、と言われるかもしれません。私たちはこの批判を甘んじて受けてよいと思います。各々ロータリーの寄贈品は奉仕活動のサンプルであっていわば実習作品に過ぎないからである。交通標識を寄贈するのは、その寄贈が主眼ではなく社会奉仕員がそれを採り上げたのは、交通問題が(当時の)大きな社会問題であることを会員とともに認識を新たに、これを調査研究しロータリーはこれと如何に取り組むべきかという課題を提供したものであります。ロータリーの寄付行為はそれ自身が目的ではなく、むしろこれを出発点として会員各人に奉仕を慫慂し、またその問題に対する地域社会一般の関心を高めて、

問題解決へ接近しようとするものである。

私は、ロータリークラブは大学病院のようなものだと考えています。大学病院は患者の診療もしていますが、その診療は診療そのものが目的ではなく、良い医者を養成するための実習であります。この点、ロータリークラブの奉仕と立場を同じくしています。クラブが行う奉仕を通じて、会員をよい奉仕の人間に仕立てるための訓練をしています。大学病院でなければ治せぬ病気もあり、また、よりよい診療のための調査研究も必要であります。奉仕の世界も同様であります。一人ではやりにくい奉仕もあります。どこに奉仕が必要か、これに対してどの様に奉仕すべきかなどの調査研究も必要なことは、医療の場合と同様であります。すなわちロータリークラブは奉仕への調査研究機関であるとともに地域の指導者であるロータリー会員に対する奉仕への訓練機関であります。

この様に考えることによってロータリーの機構や、その運営に関する疑問が解けてくるかと存じます。そうしてロータリーに「参加して敢行する」ということはどんなことかということもお分かりになって来ると思います。

事業に成功した素質のよい地域社会の指導者に、もう一つ奉仕という筋金を入れてあげようというのがロータリークラブです。

1971年 360 地区大会 RI 会長代理としての講演より

(2)善意はまずあなたから 冊子のコピーを参照ください

最後のメッセージ

私は「もし善意とゆうものがなければロータリーはただの社交クラブだ。職業は金儲けのためでしかなく、社会奉仕というも施しにすぎず、国際奉仕も外交以外の何物でもない」という主旨を述べました。

長い時間、ご静聴ありがとうございました。感謝致します。

2月度理事会報告

令和4年2月7日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40~14:40

【承認事項】

1. 1月度会計報告→承認
2. 後期人頭分担金について→承認
3. トンガ海底火山支援について→一人あたり2,000円を個人預金から拠出
4. ホテルの要望について→次年度は半分をスカイテラスで開催。例会で会員に報告
5. 八尾ロータリーとの共同奉仕活動(フィリピンセブ島災害支援)について→予算30万で飲食物を提供支援

【報告・討議事項】

1. 3/7クラブ協議会(中間)柿本円 G 補佐、小山章松 G 補佐エレクトご出席
2. 22-23年度地区補助金について(3/1より受付開始)→今後検討
3. IM 第5組の共同奉仕事業について→金額について今後検討
4. 入会申込書フォーム変更について→来月度理事会での討議事項とする

【その他】

- ・オミクロン対応について→原則オンラインを併用して開催
- ・出欠確認について→オンライン参加もあるので、事務局において出欠確認を取る

☆次回2月21日(月)例会予定

・フリートーク